friendship force OSAKA

おおさか

当初予定していた1月23日を2月23日に繰り延べ、例年のように会員が顔を合わせる総会がなんとか実現出来ないかと試みましたが、コロナパンデミックの第三波は一向に衰えず、1月に出された国の非常事態宣言は2月も引き続き継続されたため、やむを得ず今年の総会は書面による総会となりました。議案等総会資料はすでに12月に会員の手元に送付してあったので、2月に返信ハガキで各議案についての賛否を回答してもらった結果、53名(うち10名家族会員)の会員全員から、各議案に賛成との回答をいただくことができました。これに基づき2月24日に開催したZOOM委員会で、全会一致による各議案決定を確認いたしました。皆様ご協力ありがとうございました。

新会長　挨拶

会長
佐薙啓一

昨年の初めからコロナという言葉を見聞きしない日はありません。
その影響で渡航や受入れが中止され、諸活動も制約を受けました。今年の渡航や受入れも早々にキャンセルされ、恒例行事も従来通りには行えない状況が続いています。
一昨年は委員の一員に、昨年は副会長に、今年は会長を務める事になりました。上述の様な状況下、会長の役目を戴いた事は“巡り合せ”であり、“変化はコントロールできない、できることは、その先頭にたつことだけである”(P.Druker)という心境です。皆さんと協力して変化に対応し、大阪クラブの活動を進めたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

委員会メンバー

（2月のZOOM委員会の写真　(順不同です)

上段:今井(副会長)・木原(会計)・池田(顧問)・古川
中断:細井(副会長)・岩田・金山(事務局)・吉良
下段:長谷部・佐薙(会長)・大月・山田

＜新三役＞
会長:　佐薙啓一(新任)
副会長:　細井八千代
今井　綾(新任)
会計:　木原利幸
＜事務局＞　金山忠夫
＜委員＞
古川マツエ　岩田幸子
吉良末子　長谷部純子
山田多津美　大月弘義
＜顧問＞　池田政綱(新任)

会長退任挨拶

前会長:池田政綱

私はこの度の総会で5年間務めた大阪クラブの会長を退任いたしました。
振り返りますと、2016年の着任時は役員の大幅交替、特にベテラン役員5名が退任し,17名から12名体制の素人集団での船出となりました。これまで何とかやってこれたのは役員・会員の皆様の絶大なるご支援・ご協力のお陰です。改めてこの場を借りまして心からのお礼・感謝申し上げます。
昨年始めから襲ってきた新型コロナウィルスの世界的感染拡大は100年に一度のパンデミックとも言われています。今年も厳しい環境が続くと予想されますが佐薙新会長のもと一体となってFFOを盛り立てて頂きたくよろしくお願いします。

新任副会長　挨拶

副会長：今井　綾

FFに入って5年目になります。 入った時は、渡航したり海外の友達を作ったりできると思っただけで、他力本願で、クラブに何かしてもらえると受け身的な考えでした。

でも、活動に参加するうちに、ほんの少し会員としての自覚が出てきて、今回、副会長に選任され、務めさせてもらうことになりました。私にとっては大役ですが、一会員として自分にできることをすることにかわりはありません。去年、今年とクラブにとって一番大切な渡航・受け入れが出来なくなり、がっかりした時もありましたが、こんな時だからこそ会員皆さんのつながりをより深め、今までとは違った活動を模索する良い機会にしたいと思います。ご協力よろしくお願いします。

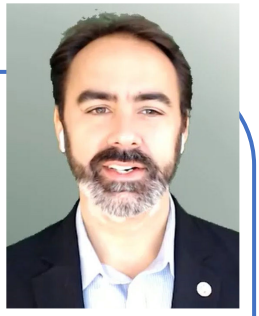
総会決議事項について（年会費について）

コロナ禍で、昨年に引き続き主要な活動である受入れ・渡航等が中止となった状況にかんがみ、

2021年の大阪クラブ会費を徴収しない（会費ゼロ）という提案が総会で承認されました。（2021年に限り）

2021年もFFI会費は支払う必要があり、大阪クラブ運営のための経費（郵送・印刷費・活動活性費当）も必要ですが、前期繰り越しを充てることで今年度の一般会計は賄える予算になりました。2022年からの正常な活動再開、新しい展開に向けて、会員各位の絆を深めるアイデアを具体化して、乗り越えましょう。

ＦＦＩ：ＣＥＯジェレミ氏のメッセージ “将来のためのFFI改革の方向性”



（FFI：CEO Jeremi Snook）

従来から気候変動、経済の好不況、紛争、分断などの課題はあったが、活動の主体は定番の渡航や交流で、渡航参加者も漸減傾向であった。2020年はパンデミックが加わり、計画していた渡航の半数近くがキャンセルされてFFIの財政が悪化し存亡の危機に直面。スタッフ削減、公的支援、所属クラブや個人の寄付などによって危機は回避できた。しかし、FFIの基盤と友情を強化活性化するため、定番のexchange主体のやり方を再検討すべき時期との認識に至った。このため

①定番のexchangeは維持強化しつつ、新しい方法（virtual journeyなど）を取り入れる、

②FFIと会員及び会員同志が直接情報受発信し、FFIのスタッフはサポートサービスの充実に力点を置く

③新料金体系（年会費制）の導入

といった改革の方向性が示された。他方、世の中はデジタル技術、デジタル化が進んでおり、これらの運用にはセキュリティーが確保された“FF会員ポータルサイト”が必要と考え、導入利用することが提示された。

ＦＦＩ活動の今後の方向とＦＦ大阪クラブの活動

FFOのこれからを考える際に念頭に入れるべき点として、①FFOの現状（定番の渡航や受入れ及び恒例行事が活動の主体、高齢化や体力的な問題でアクティブ会員が減少）、②FFIの将来の方向性、③相手クラブの動向（定番の渡航、受入れが従来通り続けられるか）、④デジタルシフトの進化などが考えられる。何れもコロナ禍が落ち着いたとしても、対応が必要である。現に、①については、受入れや渡航に当ってコーディネーターやホストの引き受け手に年々苦労している。

これからの活動は、従来の定番の渡航や受入れ、恒例行事の維持・充実を図りつつ、FFIの方向性、相手クラブの変化やデジタルシフトに配慮して対応してゆくことが求められている。これまでと異なる活動として、FFIの提唱をベースに、FF会員ポータルサイトに対する理解向上、何人かで登録・体験を試行し、クラブ内でのサポート方法の検討などの取り組みが必要と考えられるが、会員説明会などを通じて理解を得るとともに会員の声を聞いて反映しながら進めることが大切であると考える。

２０２１年度　ＦＦ大阪クラブの活動

2021年は、4月に予定していたカナダ・ノースベイオンタリオの受け入れおよび9月に予定していた台湾・グレートタイペイへの渡航が新型コロナの影響で中止となりました。年間活動のメインであり、とても残念です。
また日本大会も今年はありません。
さらに、春と秋のクラブ内交流行事も今のところは未定です。
しかし、昨年新たに活動を開始した「手芸の会」、および3年目を迎える「英語の会」は、貴重な会員交流の場であることから、今年も状況を見ながら、適切な3密対策を講じながら計9回開催する予定です。
また、今年は、e-メールやラインに加え、Webを利用した活動を重視したいと思います。運営委員会は、すでに感染拡大の状況を見たうえでZOOMを利用しての開催としています(1月・2月)。
さらに全会員を対象としたZOOMによるミーティングや懇親会、イベント等も随時取り上げていく予定です。　　（事務局：金山）

2021年　主要行事予定

月	主要行事	月	主要行事
1月	委員会(24日)	7月	委員会・手芸の会(18日)
2月	総会(書面)・委員会(23日)		ニュースレター70号発行
	2022年交流先クラブ決定	8月	委員会・英語の会(15日)
3月	World Friendship Day(1日)	9月	秋季クラブ内交流(未定)
	ニュースレター69号発行		委員会・英語の会(26日)
	委員会・英語の会(21日)	10月	委員会・手芸の会(17日)
4月	春季クラブ内交流行事(未定)		中部ブロック会議(未定)
	委員会・手芸の会(18日)	11月	委員会・英語の会(21日)
5月	委員会・英語の会(16日)		総合フェスタ　(23日)
6月	委員会・英語の会(20日)		ニュースレター71号発行
		12月	委員会・忘年会19日)

ZOOM新年挨拶（1月7日）

地域グループの活動　＜大阪グループ＞

毎年行われてた忘年会の中止も決まり、大阪クラブ全体が集まる活動は難しい状況になり、グループに分けてこのコロナ禍においても何か活動をしようということになりました。
私たち大阪グループは屋外の活動ということで ’紅葉の和歌山城散策’を11月下旬に企画しました。しかし日程が近づくにつれ、第3波感染拡大が始まり中止となりました。
みんながstay homeしながらできることはZoom の活用だと思い、’Let’s enjoy chatting in English’というズームミーティングを企画しました。 シドニー出身のMarkさんを招き,限られた時間楽しくおしゃべりしました。
英会話のスキルを上げるというより、会員相互の親睦を図るため皆さんの興味があるであろうEnglish’ をキーワードに1つの画面に集まることができました。 13人の顔、共有した時間、とても有意義な集まりになりました。
これからも新しい活動を企画していきたいと思いますので、みなさんもアイデアを提案して下さい

Markさん

（今井　綾）

地域グループの活動

＜神戸グループ＞

昨年の忘年会はコロナの影響でクラブ全体でやる事は難しく、グループ毎でやる事にり、ZOOM会議で話し合い、神戸グループは三ノ宮でランチ忘年会をする事になりました。会議をする前は、このコロナ禍でランチをすることに反対する人もいるのではないか、計画しても誰も来てくれないのではないかと、とても心配しましたが、案内を出したところ、実に半数近くの方が忘年会に参加してくださり、大変嬉しく思いました。　（忘年会）

当日は久しぶりに顔を合わせての会食に華が咲き、とてもたのしいひと時を過ごす事ができました。特に入会したのに何もかもが中止になり何もできなかった新入会員の方の参加もあり、これを機会に色々な事に積極的に参加して欲しいと思いました。　自粛で家に閉じこもりがちな毎日の中で「何かやりたい！」と思っている人も多いはず。FFOではしっかりと感染対策をしながら前向きに色々企画していかなくてはいけないのではないかと思いました。　（岩田幸子）

「手芸の会」スタート

昨年より「手芸の会」が発足しました。

会員の皆様との親睦と、渡航、受入れの際のお土産、バザーでの販売に少しでもお役に立てればと、お受け致しました。

他に有能な方は沢山いらっしゃると存じております。

先ずは外国のかたが喜ばれる作品をと、着物地を使っての作品を選んで、皆様と楽しんで作っております。時間の制限と手芸の経験の違いがありますので、作品を選ぶのには少々苦労がありますが、今のところ皆様時間内に作品が出来上がっています。

最初は着物地のブローチ、二回目は着物地のボトルカバーを。次回は着物をパッチワークしてのタペストリーを。

布地を選ぶのも楽しい時間です。

今の所私が保管している着物地を提供しますので、材料のご用意はしていただかなくても宜しいかと思います。

まずは楽しんで作品作りをしていきたいと思っております。

（森本　篤子）

＜事務局からのお願い＞

1. 大阪クラブが新たな展望を開いていくための行事や企画、会員の親睦や繋がりを深めるアイデア等を事務局へお寄せ下さい。
2. PC、スマホ、タブレット等を買い代えて、アドレスが変わった、添付文書が開かない等のトラブルが生じた場合は事務局へ連絡下さい。また、ZOOMに関する質問やお問い合わせも事務局へお寄せ下さい。

編集後記

今号は、発刊以来初めての総会集合写真のないものとなり、内容もFFI、FFOの今後を模索する内容となりましたが、ZOOM交流、英語・手芸の会、地域グループの交流等、新たな活動も生まれています。

これからも、アイデアを出し合い、会員同士の絆を強めていきましょう。　（木原）

編集発行 フレンドシップフォース 大阪クラブ
発行日　２０２１年 ３月１５日　第６９号
事務局　〒573-0032 枚方市岡東町1-10
金山忠夫　TEL＆Fax　072-846-4435
kanayama573@gaia.eonet.ne.jp
ホームページ担当　飛岡文夫・大月弘義
http://ffosaka.pro.tok2.com/
編集人　木原利幸・細井八千代・長谷部純子・山田多津美・岩田幸子・吉良末子